



# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

## 八軒谷戸と相武隧道の今昔

会員の皆さん、謹んで新年のお慶びを申し上げます

今年もどうぞよろしくお願い致します。

今から40年前の年末に知人運転の大型トラックに乗せてもらい、炭小屋下の砂利道と相武隧道を初めて通った事がある。当時の道路は運転手が嫌がる程の悪路だったが、それが契機となり以来この地域の自然に魅せられている。

### (1) 八軒谷戸の由来

まだ隧道がなかった時代の県道は、詳しくは分からないが、隧道手前の谷戸付近で「行き止まり」になっていたという。当時、この谷戸地区には農家が八軒しかなかったので、ごく自然に「八軒谷戸」と呼ばれる様になったらしい。現在の生協上郷店付近にある「八軒谷戸」バス停が当時を物語っていると思われる。

### (2) 隧道がない時代の山越え

隧道がない当時の旅人は、現在の「長倉住宅」付近から、比較的勾配が緩やかな道を尾根に向かって登り、「区界広場」付近で、金沢や鎌倉に向かうのが一般的だったらしい。

その他にも鎌倉への近道として、隧道手前（京浜金属）付近から、急坂を登るコースがあったが、霊園工事により多くが破壊されてしまい、天園コースの合流付近にわずかに当時の道路跡が残っている程度である。

### (3) 山歩きに魅せられて

私は、この付近の自然に魅せられて、無我の状態自然観察の森の付近や、鎌倉方面、金沢自然公園、氷取沢農耕地、峰市民の森、磯子カントリー付近まで何度も足を延ばしているが、この付近の山々は起伏が緩やかで、やや物足りないが、この程度の単純な山歩きの繰り返し、後に自分自身の健康管理と、退職近くの気力の充実に繋げる事が出来たと思っている。

### (4) 朽ちた建物と大きなプール

皆さんもご存知だと思いますが、森の家が建つ前までは、同じ敷地内に木造住宅数棟と大きなプールが残っていました。木造住宅は相当朽ちた状態で、大きなプールは雨水で満たされ、数えきれない程の蛙に占領されていました。私はこれを「廃墟になった別荘」だと想像していたが、後に山中で出会った老人から「この建物は米軍の将校住宅だった」と聞いた事がある。真意の程は分からないが、今でもその話を信じている。

### (5) 相武隧道の緊急開通

今回の題名からして「相武隧道の歴史を避けては通れない」と思った。そこでネットや各種資料で調べたり、栄区役所に問い合わせたりしたが納得が得られなかった。そこで県道原宿六浦線を管理している栄土木事務所に照会したところ、次の様な回答を得ました。

(ア) 終戦直前になって、横須賀市と厚木市間の道路の緊急整備方針が決定しました。

(イ) 県道原宿六浦線の未開通区間の「相武隧道」の工事を昭和13年に着工しました。

(ウ) 5年の歳月を費やし、昭和18年に開通にこぎつけました。

(エ) 現在マクドナルド付近で工事中の「紅葉橋」も、昭和13年に掛け替えました。

### (6) 隧道の内部の改修

戦時中の開通により脚光を浴びた相武隧道も、敗戦後は車の往来が途絶え、通行人すら疎らとなり、維持管理もおざりにされたという。しかし、年々行き交う車や人が多くなり、隧道内部の照明設備と換気設備が最新設備に更新され、これまでは無かった歩道も新設され、安心して利用出来る道路になったといわれています。

### (7) 入会の動機

これまで、長年山歩きを続けていて、何時も炭小屋前を通っていたのに、炭小屋を「林業会社の作業小屋」との思い込みから何時も素通りしていました。退職直前になって、横浜市のHPで「観察の森のボランティア募集」を知り、「これだ」と思い、即入会手続きをしました。

### (8) 素晴らしい仲間を得た喜び

会員の皆さんは、誰一人として多くを語らないが、皆さんはそれぞれの専門分野において、期待と信頼に応えて来た方々だと直ぐに察することが出来た。このような皆さんと、恵まれた自然環境の中で和気相合と集えることは素晴らしいことだと、何時も感謝している。今年も炭小屋を中心に自然を謳歌しながら、ボランティア活動に力を注ぎ、皆さんと共に有意義な人生を送りたいと思う。

## 1. 11～12月の活動報告

- ① 11月27日(土)晴 16名 堆肥場改修、炭焼き(ドラム缶窯)
- ② 12月4日(土)晴 16名 堆肥場改修、製材、垣根(裏)改修
- ③ 12月11日(土)晴 19名 堆肥場防腐剤塗布、池ノ上クヌギ間伐(9本)、竹林整備
- ④ 12月18日(土)晴 23名 クヌギ林間伐(ホダギ用、2本)、炭焼き(ドラム缶窯)、蒸留、運営会、注連飾り、忘年会
- ⑤ 12月19日(日)晴 6名 森のボランティア体験支援
- ⑥ 12月23日(木)晴 10名 友の会「森のボランティア祭り」参加<火担当、コースター作り>
- ⑦ 各水曜日ほかに準活動日として木工作业を実施



横浜栄高校の三世交代交流会。  
今回は圧倒的に女性優位でした。  
作るのも上手い！



ケーブルTV「JCNよこはま」さんが  
取材に来てくれました。



脚の手術も快復し佐藤さんが忘  
年会にやってきました。よかった、  
よかった(^^)

## 2. 12月度運営会報告 -12月18日開催:センター研修室-

- ① 2011年1月度作業打ち合わせ -3項参照-
- ② 注連飾り作り

## 3. 2011年1月度活動予定

- ① 1月 8日(土) 竹林整備、炭材作り、炭小屋整理、道具手入れ、七草粥 担当:張間・竹内・大越・佐野・鈴木
- ② 1月15日(土) トウネズ除伐、竹林整備、炭材作り、運営会 味噌汁担当:片岡・橋詰
- ③ 1月22日(土) 製材、竹林整備、クヌギ林管理作業、炭材詰め 同:吉田・武田
- ④ 1月29日(土) 準活動日
- ⑤ 毎水曜日:準活動日

## 4. 編集後記

- ① ZFC20周年で盛り上がった2010年もあっという間に駆け抜けて行きました。2010年は春先寒く、夏は猛暑で作業は思うように進みませんでした。皆さまの日々の精進や気配りのおかげで大きな災害もなく過ごすことが出来ました。今年2011年も楽しくかつ安全に活動を進めていきましょう。
- ② 新春巻頭コラムは工藤さんです。随分以前から観察の森辺りをテリトリーとされていたようです。観察の森ができる前のこともご存知のようで、その前のことも調査されています。随分様相が異なっていたようです。私も今回のコラムで刺激を受けました。記事の様子を知りたいと国土地理院の航空写真をネットで閲覧したところ、1983年頃の画像には記事に出てくるプールが見えます。また現在のピクニック広場の地下には、やはり記事に出てくる京浜金属の建屋と同規模の秘密基地が埋設されていることを知ることもできました。過去を調べることは面白そうです。興味のある方は、こちらからどうぞ。 <http://archive.gsi.go.jp/airphoto/>
- ③ チェーンソー作業者の特別講習案内がきています。  
2011年1月13日(木)・14日(金) 平塚  
2011年2月24日(木)・25日(金) 本牧  
上記に開催されます。費用は11千円(半額クラブ負担)です。参加されたい方は、関根まで連絡ください。
- ④ スプリングフェアに参加希望のイベントについては早めに役員まで申し出てください。
- ⑤ 「JCNよこはま」によるZFCや森のボランティア祭りの紹介は、1月17日(月)18時～「デイリー神奈川」だそうです。JCNケーブルテレビ契約の方のみ視聴できます。チャンネルはアナログ 9ch・デジタル 11ch。